

一般演題6-2

診療報酬改定による当院の影響

間中泰弘¹⁾ 天野陽一¹⁾ 水谷 瞳¹⁾山之内康浩¹⁾ 新家和樹¹⁾ 内藤明広²⁾

- 1) 医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 臨床工学科
2) 医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 乳腺外科

【はじめに】

高気圧酸素治療は、2018年4月の診療報酬改定において大幅に改定され、以前より問題視されていた採算面に対する改善や治療件数の増加が期待できる内容となった。

しかし、当院の今年度8月末時点の症例数および治療件数から予想される年度末実績は、過去のそれらと比べ大幅な減少が見込まれた。(図1)そこで、診療報酬改定との関連性を評価すべく、適応疾患に該当する診療科の医師へ「診療報酬改定に対する影響」についてのアンケートを実施したため、その結果および今後の課題について報告する。

【方法】

治療件数が減少している外科、耳鼻科、皮膚科、整形外科、循環器科、産婦人科、歯科の7科の医師に対して、診療報酬改定に対する勉強会を開催した。開催期間は、9月1日から9月30日までの1か月間とした。内容は、診療報酬改定について、治療実績や各科の治療効果、治療導入依頼の方法とした。また、治療を導入する医師の多くは手術室に出入りするため、各手術室に診療報酬改定のポスターを掲載した。その後、勉強会を開催した7科に対してはアンケートを実施し、診療報酬改定による関連性を評価した。(表1)

【アンケート結果】(図2)

アンケートの回答率は、77%であった。設問1.2「高気圧酸素治療及び高気圧酸素治療装置があることを知っていますか」には、98%の医師が認知していた。設問3「高気圧酸素治療を依頼したことがありますか」には、29%の医師から依頼がなく、依頼をしたことのある71%の医師に対して、設問3-1「高気圧酸素治療を実施し、効果を感じましたか」には、26%の医師が効果を感じていないと回答した。設問4「診療報酬が改定されたことを知っていますか」には、80%の医師が改定されたことを知っており、設問5「診療報酬が改定されたことで治療導入に対する抵抗が強くなりましたか」には、16%の医師が治療導入に抵抗を感じていた。また、抵抗を感じている医師の89%が、設問3-1で治療効果を感じていないと回答していた。しかし、設問6「今回の勉強会を聞いて高気圧酸素治療を依頼しようと思いましたが」には、99%の医師が治療導入を検討すると回答した。

【実績結果】(図3)

今年度4月から8月までの症例数は56件、治療件数は576回であったのに対して、9月から10月までの症例数は43件、治療件数は338回であった。これを過去5年間の実績と今年度4月から8月まで、9月から10月のそれぞれ月平均と比較すると、9月から10月は、過去5年間の実績とほぼ同数まで回復していた。

【考察】

診療報酬が改定されたことにより、症例数および治療件数は減少した。減少理由として、診療報酬の規定回数を超える長期治療の打ち切りや収益増加ありきの案内が先行したことが原因として考えられた。しかし、診療報酬が改定さ

れた経緯や治療効果など、医師が感じている疑問を適切丁寧に解決していくことが、治療実績の回復につながった。また、診療報酬の規定回数を超える長期治療が必要な患者の対応が、今後の課題ではないかと考える。



図1 治療実績 (2018年度予測値)

表1 アンケート内容

アンケート	
1.	高気圧酸素治療を知っていますか
2.	当院に高気圧酸素治療装置があることを知っていますか
3.	高気圧酸素治療を依頼したことはありますか
3-1.	高気圧酸素治療を実施し、効果を感じましたか(3で「はい」と答えた方のみ)
4.	診療報酬改定されたことは知っていますか
5.	診療報酬が改定されたことで治療導入に対する抵抗が強くなりましたか
6.	今回の勉強会を聞いて高気圧酸素治療を依頼しようと思いましたが

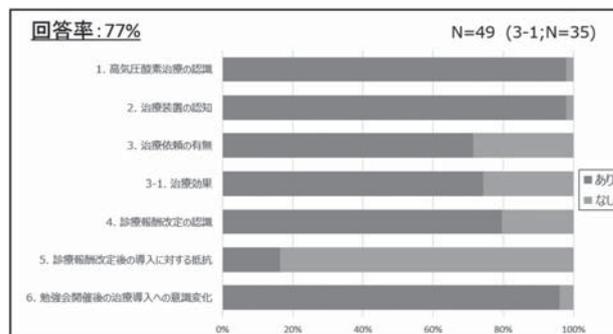


図2 アンケート結果

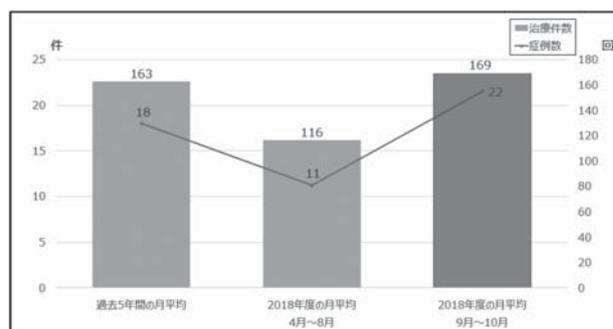


図3 治療実績の比較 (月平均)